

オーナーblog 第3話 「語学をマスターする ①」 (2023.5.12.)

身体的不利のため、中学に通えなかった A さんのサポートをすることにした。
まずは、『英語』を3か月で軌道に乗せることにした。
大手進学塾や家庭教師の〇〇で成果が出なかったとのことだが、無関係に進める。
面談で“できる”と思えたので、本気で“知恵”を絞る段階に進んだ。

まずは、私なりに人間にとって“言葉”とは何かを考えてみた。

「ことば」は、自分と相手の“脳”をつなげる道具
声帯と呼気で音を作り、仲間と「対話」をする
文字の組み合わせで「単語」を作る
単語の組み合わせで「文」を作る

文字の発明で、「情報」は地域や世代を超えるようになった
文章は、「感情」の域まで伝えられる「文学」になった
同じ「言語」を使う人たちが、同じ「文化」を作り始めた？

英語圏で、「過去」のイメージを伝える方法は？
既存の“動詞”の形を変える（先人達が作った“有るもの”を活かす）
ルールを共有することで、“昔の出来事”と分かり合える

この思考法で、中学 20 単元の基本をデジタル教材化していこうと思う。